

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 11

2011 No.686

3 はじめの言葉

4 消費者は賢いと言ったジョブズ氏

顧客は今どうされているか

田原文夫

iPod、iPad、iPhone で世界中を沸かせたアップル社のジョブズ氏が死去した。全く関係ないと思われる人々まで、彼との個人的付き合いがあったが如く、彼の死を悼んでいる。彼をカリスマだとする論評も多い。彼に関する記述本が何十万部も売れたというウソのような話も飛び交っている。彼が人生の最後に多くの人々を魅了する商品を市場に出したことは間違いないが、一番光り輝いていたのは、彼の製品プレゼンテーションだった。商売とは、まさに「これだ」という売り込みの熱意があった。日本の製造業の多くは、輸出産業の代表のように振る舞い、最近の円高を製品売れ行きの悪さの最大要因として嘆いている。しかし、タイの洪水騒ぎで、実は日本の製造業の多くの生産拠点が海外にあることを改めて印象付けられた。海外拠点で作って、諸外国に売る。一部を日本の消費者向けに海外工場から輸入し販売している。こんな側面を持っているのが日本の製造業の現実の姿ではないだろうか。円高差損どころか、立派な輸入業者として円高差益を享受しているものと思える。儲かっている部分は隠し、あるいはウソをつき、損をしている部分だけを強調して見せる。隠し、ウソをつくという企業文化は、いつしか企業全体を虫食み、製造業としての誇りどころか、商売人としての誇りも忘れ、最も大切にしなければならない顧客を軽視する姿勢となって現れているようだ。以前にも触れたことがある問題だが、今一度、顧客との接点がどういう事態になっているのか見てみよう。

10 情報社会を考える その14

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

急に飛び出してきた感じの TPP 問題だが、改めてすべての問題がグローバルな規模で動いていることを認識させる。各論で考えると、特に日本という国の立場から考えると、そこには各国の思惑が見え隠れしている。しかし一國のご都合だけではないというスタンスで迫ってくるだけに、世界の孤児とならないためにも、議論の場には参加していこうという流れにあるとも言える。その中で、日本のアイデンティティを保ちながら、世界における競争力を再生していくには何を、どうしたらよいか。今はどういう時であるのか。

1 4 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-BIM構築が必要か その9 水田 浩

政府、地方自治体が管理／保有している建造物には、膨大な公的予算がつけ込まれている。企画立案／計画／設計／施工／維持・保守管理そして廃棄まで、莫大な資金が投入されている。そしてこれらの資金投入に無駄がないかを監査するという作業が繰り返されている。もしもこの一連の作業を一貫プロジェクトで遂行することができたら、どれだけの無駄とコスト削減、生産性向上、品質向上が実現できることか。しかも、そのプロジェクト遂行で培われる創造的ノウハウ、知的集約作業の蓄積は、同時に近未来の輸出産業とすることも期待できる。ちなみに、企画力、設計力、施工技術、保守技術などを情報システムによって一元管理する能力を、日本の企業人は十分に保有している。その基礎テクノロジーは、これまで各分野で培われてきたものであり、それらを集大成する形で M-BIM プロジェクトは推進することができる。今こそが、その絶好のチャンスである。

1 9 連載 アーキテクチャ論 (7)

TOGAF その1 山本修一郎

本稿では、前回代表的なアーキテクチャ・フレームワークの一つとして紹介した TOGAF (The Open Group Architecture Framework) のアーキテクチャ開発手法 ADM (Architecture Development Method) について説明する。

2 7 サーバー攻撃を検証せよ

データベース管理周辺まで視野に aism

利便性が高く、経済性もある。今、携帯電話／タブレット端末の市場が白熱している一番の理由である。いつでも、誰でも、どこからでも欲しい情報にアクセスすることの飽くなき要望があるからだ。しかしその利便性と隣り合わせのセキュリティ問題、特に Android という話題の OS 周辺に潜むハッキングなどの不正行為を忘れてはならない。本欄における検証／警鐘の背景である。政府も動き出したようだが、携帯／タブレット端末サイドの検証だけでは不十分である。ちなみに、我が国の防衛産業、重工業産業をターゲットにしたサイバー攻撃が多発しているが、その対応策は情報システム全体の中核部分から見直すものでなくてはならない。中でも、重要情報の中核であるデータベース管理周辺のセキュリティ対策を含めて、今一度、根本的に検証してみる必要がある。

3 5 続インテリジェンスへのいざない 23

サーバー攻撃を受けた日本国会中枢の情報感覚 今井 武

アメリカ政府は、サイバー攻撃を受けたら物理的軍事力による報復を視野に対応することを表明している。衆議院のネットワークがサイバーテロの標的になった。どうするニッポン。

3 6 情報管理技術者認定

3 8 IT新時代とパラダイム・シフト

第26回 タブレットPCの競争の行方は

根本忠明

アップル社に覇権を握られたかのタブレットPC市場だが、アマゾンによるタブレットPCの新機種投入で俄に低価格競争に拍車がかかる気配である。その背景にあるのは、ウェブ市場におけるビジネスモデルの捉え方である。行方やいかに。

4 1 ものの造れる日本再生に向けて

第二／第三の創業へ

Dr. ベスト

政府は、原発の無条件再稼働を見直すところから「再生エネルギー」だとか、「新エネルギー」だとか言い出した。実は原発以外にも、実に様々なエネルギー研究がされてきているのだが、既得権益集団によって封印されてきているのが実状だ。しかも従来型エネルギーに固執し、かつ無競争環境の中で改良改善の努力もおろそかにされてきた。それが一般国民をして高止まりした光熱費の支払を強いられてきた背景である。今回の電力不足問題にしても、計画停電の対象はほとんど一般家庭が対象とされたが、企業など大口の電力利用は、格安料金のまま停電することなく解放されてきた。今こそ既得権益エネルギー以外の新エネルギーをもって日本再生は目指されるべきである。新規事業は新たな雇用を産み出すであろうし、同時に一般国民は不当な光熱費から解放されることだろう。

4 4 一味違うウェブ検索

第十六話 上位語と下位語へと検索範囲を広げる ぐうのうえぶへい

検索内容をなお一層深掘りしていく場合、上位語と下位語を使うと便利である。その便利さは、検索の目的を明確にし、焦点をしぼることで、さらに効果的となる。

4 6 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまチヒロ

<http://www.jmsi.co.jp/>

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2011年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れ文も企業体質
■ ニュースリリースは東方向選定	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開拓手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開拓フル稼働とバレンタイン
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、突如のエンターテイン	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安定期間と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp